

横瀬町 土砂災害ハザードマップ YOKOZE TOWN

土砂災害ハザードマップとは

全国各地では、風・水害や土砂災害により尊い命や貴重な財産が失われています。横瀬町では県知事が指定した土砂災害警戒区域等を図面に記載し町民の皆さんへの避難に役立つよう作成しました。いざというときに備え、避難場所までの経路や家族の連絡先など確認しておきましょう。なお、地図に示された区域以外にも、土砂災害等が発生することがありますのでご注意ください。



地図の凡例

記号	表示項目
①	指定緊急避難場所
②	指定避難所
③	福祉避難所
■	防災行政無線
---	市町村境線
河川など	
国道	
主要地方道・県道	
私鉄線	
●○	町役場・出張所
○×	駐在所
▽	消防署・消防団詰所
〒	郵便局
⊕	医療機関

凡例：土砂災害警戒区域等

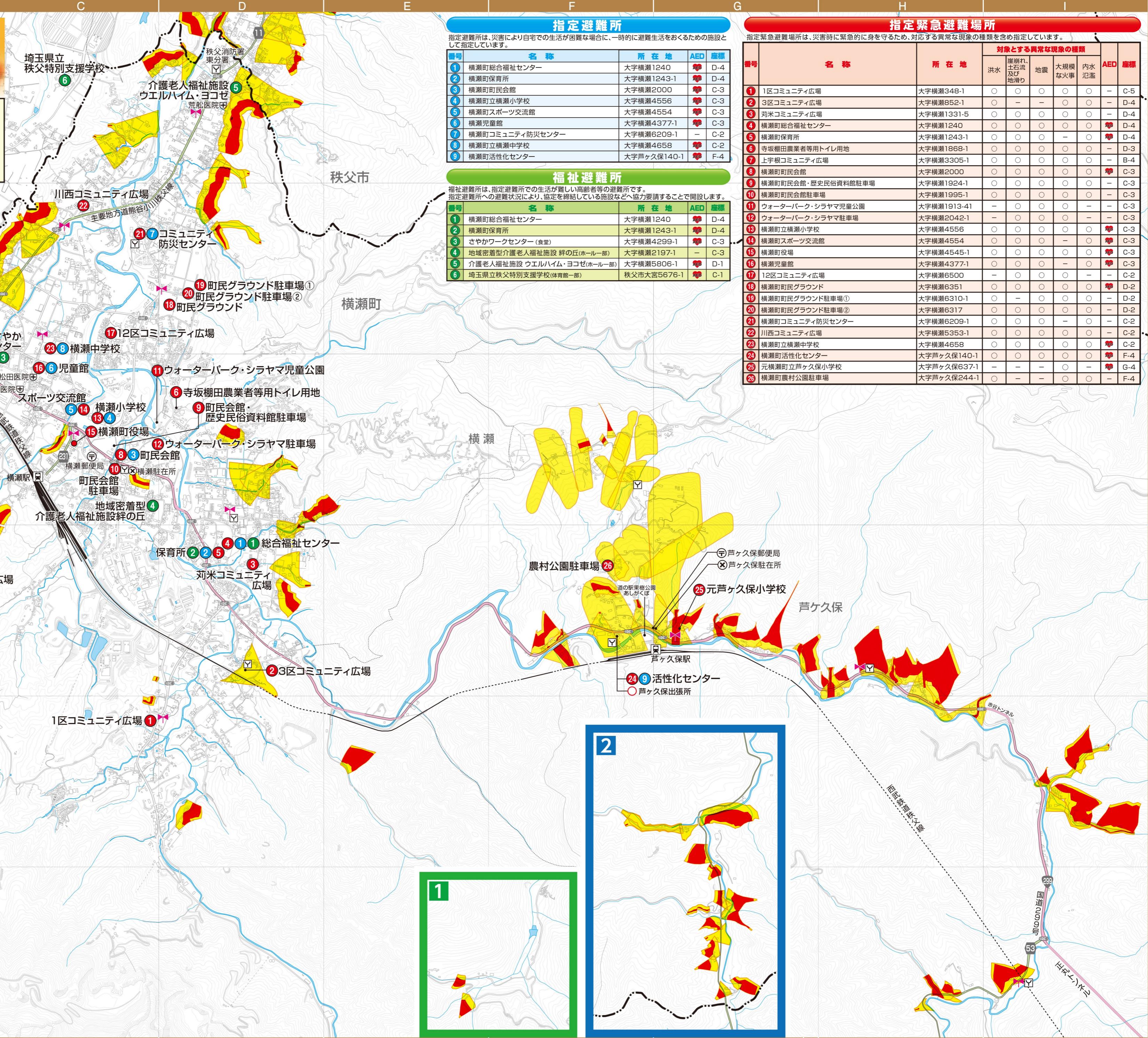
区域名	表示
土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）	赤色
土砂災害警戒区域（イエローゾーン）	黄色

○土砂災害警戒区域の表示は縮尺等から位置に多少の相違がありますので、ご理解のうえご観察ください。

○土砂災害の種類：かけ崩れ・土石流・地すべり

N
0 250 500m 1/15,000
この地図は、横瀬町長の承認を得て同町発行の横瀬町地形図を使用して調製したもの。(横建第 563 号)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



土砂災害について

集中豪雨や長雨などで地盤がゆるむと土砂災害
(土石流や地すべり、がけ崩れなど)が発生します

雨が降りはじめる

発災前

発災

早い段階で安全な場所へ

避難準備情報を聞いたり、大型の台風や雨が多いと予想される場合には事前に避難



早い段階で安全な場所へ

異変や予兆現象を確認したら避難



- ◆ラジオやテレビ、地元を通じて「土砂災害警戒情報」入手したら、いち早く避難しましょう。
- ◆「土砂災害警戒情報」が出ていないても、前ぶれに気づいたら、すぐに周りの人たちと安全な場所に避難し、自治体や警察、消防などにも通報しましょう。



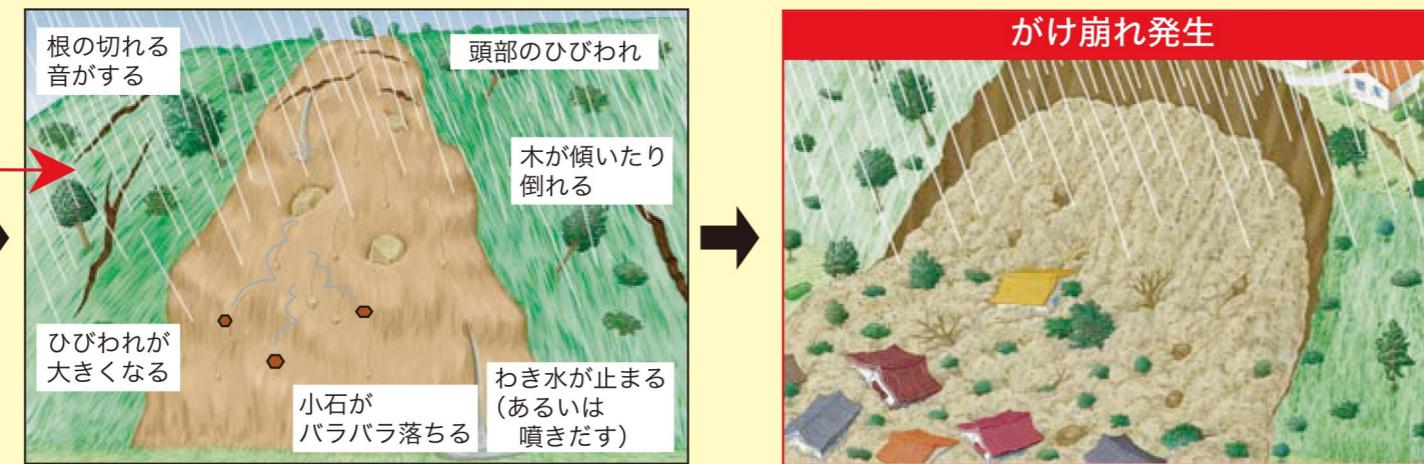
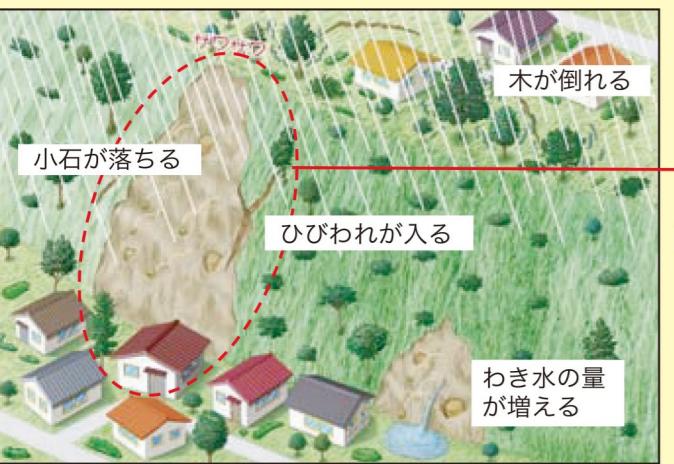
◎その場そのときの最も安全な場所へ
最寄りの指定緊急避難場所に避難するのが危険と感じた場合、その場その時の状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。例えは・
・高くて丈夫な建物や高台
・指定緊急避難場所に限らず、駆け込めるところ
・自宅の高いところ、斜面から離れた部屋



土砂災害の種類

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



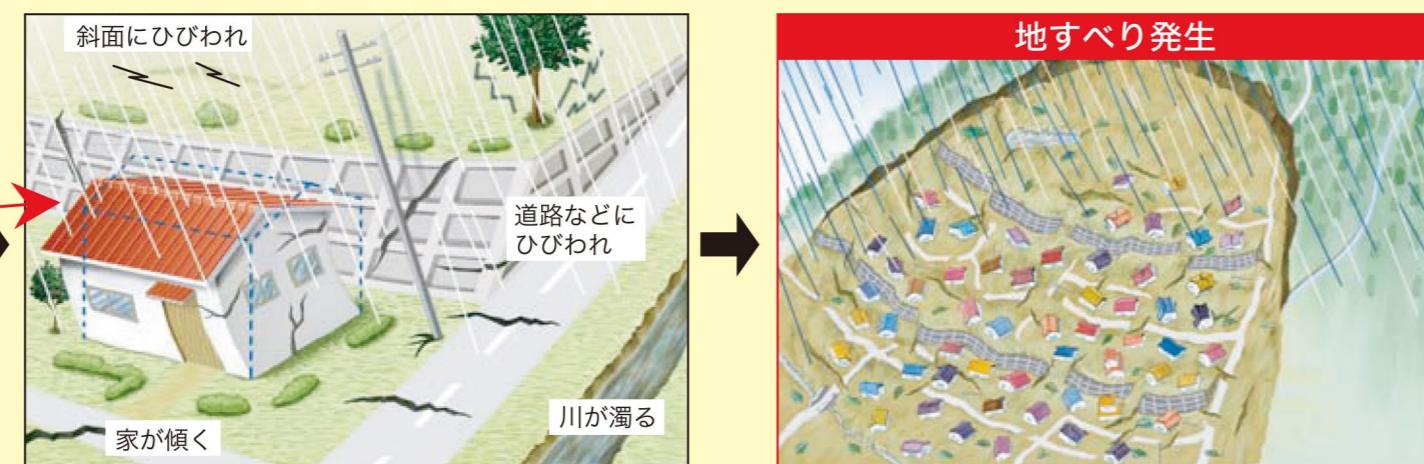
土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速 20~40km という速度で一瞬のうちに人家や畑などに被害が発生します。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に地面が大きなかたまりのまま動くため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



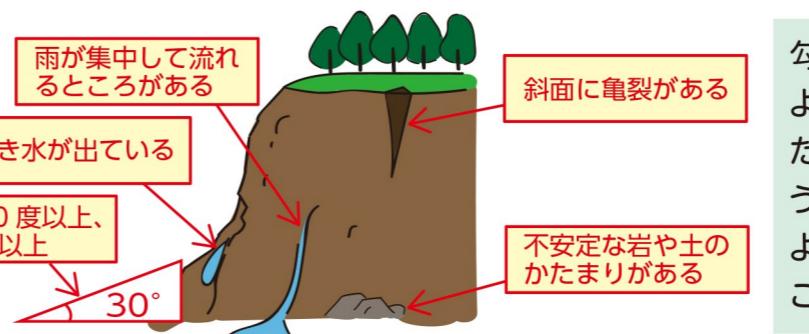
警戒レベル

※ 必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。

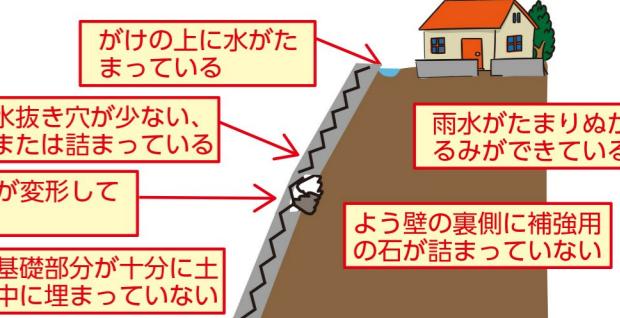
※ これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

発令情報	警戒レベル 1 警戒報級の可能性 (気象庁)	警戒レベル 2 注意報 (気象庁)	警戒レベル 3 避難準備・高齢者等 避難開始	警戒レベル 4 避難勧告 避難指示(緊急)	警戒レベル 5 災害の発生
発令状況	気象庁から注意報などが発表されている状況です。	被害が発生する危険度が高まった状況です。	被害が発生する危険度が明らかに高まった状況です。	被害が発生する危険度が非常に高い、あるいは被害が発生し始めた状況です。	災害が発生した状況です。
要べきき行動	最新の気象情報などに注意	避難場所や経路を再確認	高齢者らは避難	速やかに避難	命を守る最善の行動

土砂災害の予防策



勾配が30度以上あるがけは、大雨により崩れる危険性が高い場所です。また、がけや盛土の崩落を防ぐためのよう壁も、その構造や築年数の経過により崩れる危険性があります。日々からチェックしておきましょう。



危険箇所内的重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、埼玉県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しを行っていく予定です。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域

